分 類　授業支援

ドリームジョブツアー in 五反田バレー2023

事業の背景・目的

社会は広く、多様で、様々な可能性があることを知り、将来を前向きに考えるきっかけになってほしい。五反田地域の企業の存在を知り、関心・愛着を深めてほしい。

事業の概要

事前準備では、まず自分自身を知り、五反田地域を知り、お話頂く企業について調べる。なぜ今の会社で働いているのか、何を目指して、何を大切にしているのかなど、対話を通して聞き取り、自分の考えも伝えてみる。終了後は、自分自身を振り返り、働くことの意義を改めて考えてみる。お話をして頂いた企業の方へお礼状を書く。

特徴および工夫した点

本年度は２４社の企業のご協力を頂いた。初めて飲食のお店へ参加もお願いし、様々な職種の方々と交流できることで、生徒たちが幅広い視点で話を聞けるようにした。生徒たちはお手製の趣味などを描いたネームカードを身に着け、自己紹介を行う事からスタートした。企業の方とのコミュニケーションをとるきっかけとなり、始めは緊張していた生徒たちもだんだんと発言する声が聞こえてきた。

成　果

働くということについて、前向きに考えるきっかけになったと思う。

今後の展望

１クール２０分が短いという声もあり、検討していきたい。

児童・生徒の感想

働くことの意義について改めて考えるきっかけになった。大変なことが楽しい、利益だけでなく世に貢献することの大切さ、そんな考え方もあると知り、心に残っているという感想が多くあった。

学校紹介
学校名　品川区立日野学園
校長名　堀井　昭宏
住所　品川区東五反田２－１１－１
電話　０３－３４４１－３２０９
URL　https.//school.cts.ne.jp/hinogaku/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成２８年度
登録ボランティア数　６０名
学校地域コーディネーター　田辺　優美子・本田　一美

分 類　学習支援

英語絵本の読み聞かせ

～児童に英語のシャワーを！～

事業の背景・目的

近隣の大学生ボランティアの方が発足し、保護者ボランティアの方と連携して、児童にもっと英語を身近に感じてもらおう！楽しんでもらおう！という目的で活動を開始した。

事業の概要

品川コミュニティ・スクールのスタート時からずっと続いている活動。
１年生～４年生、各学年月に１回ずつと今年度初めて５組に１回実施。
授業前の朝の時間（15 分間）を有効活用して、英語の絵本を読みきかせしている。

特徴および工夫した点

英語絵本を読み聞かせるだけでなく、児童に楽しんでもらえるように、ハロウィーンやクリスマスの月には衣装も用意して、児童たちと一緒に歌ったり、踊ったりした。

成　果

今年度初めて５組でも活動を行い、活動場所が広がった。児童たちにとても楽しんでもらえた。

今後の展望

ボランティアの方を増やし、各教室でより充実した活動を展開していけるようにする。

児童・生徒の感想

歌ったり、踊ったりする事が楽しかった。英語が好きになった。
聞き取れなかった英語も、絵を見るとわかる事が多く楽しい。

学校紹介
学校名　品川区立日野学園
校長名　堀井　昭宏
住所　品川区東五反田２－１１－１
電話　０３－３４４１－３２０９
URL　https.//school.cts.ne.jp/hinogaku/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成２８年度
登録ボランティア数　６０名
学校地域コーディネーター　田辺　優美子・本田　一美

分 類　学習支援

異学年交流を通して協力して活動する力を高めよう

低学団遠足（第１学年～第４学年）

事業の背景・目的

１ 年生から ４ 年生までの縦割り班の活動を通して、協力する力を高めたり、信頼関係を深めたりする。

事業の概要

学校から戸越公園まで往復徒歩で移動する。現地では文庫の森・戸越公園・エコルとごしを縦割り班ごとにローテーションで活動、昼食のお弁当も各班で食べた。

特徴および工夫した点

現地までの経路で、見守りボランティアが必要な箇所を、担当の先生と一緒に下見をして確認して決めた。

成　果

下級生が喜ぶためには何をしたらよいかを、４年生の考えで行動している姿が見られた。

今後の展望

ボランティアの方々には、往復の移動の見守りをお願いしたが、現地の活動でのお手伝いも検討したい。

児童・生徒の感想

リーダーの４年生が、公園での遊びをたくさん考えてくれて、とても楽しかった。

学校紹介

学校名　品川区立伊藤学園
校長名　野口　大和
住所　品川区大井５－１－３７
電話　０３－３７７１－３３７４
URL　http://itogaku.shinagawa.andteacher.jp
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成２８年度
登録ボランティア数　１０３名
学校地域コーディネーター　久保田千晶、小野英一

人と人が手や肩を組む
伊藤学園のシンボルマーク

分 類　学習支援

「働くということ」について考えよう

第８学年職場体験

事業の背景・目的

実際に仕事を体験し、働くことの意義を働いている人から直接聞き、進路の参考として今後に生かすとともに、社会人としてのルールやマナーを学ぶ。

事業の概要

事前の打ち合わせ訪問の電話連絡から生徒が行い、区内の約 45 の協力事業所で２人から５人程度の生徒が、２日間実際に行っている仕事を体験する。

特徴および工夫した点

生徒 122 名の受け入れ企業を確保するため、昨年度受け入れ企業を中心に約 60 社と協議した。受け入れ企業への依頼状は極力直接持参し、信頼関係の構築に努めた。

成　果

全員が現場の仕事を体験し、直接実際の仕事の話を伺える有意義な活動となった。

今後の展望

担当教員との打ち合わせを密にし、生徒・受け入れ企業ともに喜んでいただけるよう努めていきたい。

児童・生徒の感想

企業の皆様のおかげで貴重な体験ができました。このような体験のために様々な準備をしていただき感謝しています。

学校紹介

学校名　品川区立伊藤学園
校長名　野口　大和
住所　品川区大井５－１－３７
電話　０３－３７７１－３３７４
URL　http://itogaku.shinagawa.andteacher.jp
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成２８年度
登録ボランティア数　１０３名
学校地域コーディネーター　久保田千晶、小野英一

人と人が手や肩を組む
伊藤学園のシンボルマーク

分 類　学習支援

「町たんけん～ドリームジョブ～職場体験～ホームページ作成へ」

～興味から体験へ、八潮地域でつながる～

事業の背景・目的

町たんけん（２年）で興味を持ち、ドリームジョブ（７年）で様々な職種の皆さんの話を聞き、興味を持った職場で体験（８年）をさせていただき、それをホームページ作成（９年）で活かし有意義な経験とする。

事業の概要

町たんけん、ドリームジョブ、職場体験ホームページ作成等の経験を通して、地域の営み、働くこと等の理解を深める。

特徴および工夫した点

町たんけんで訪問した事業所を中心に依頼をし、次の体験につながるようにした。

成　果

興味をもった職業や事業所に継続して訪問することで、生徒の理解につながった。

今後の展望

更に多くの店舗、企業、事業所等に継続して訪問・協力いただくことで、児童・生徒のより深い理解につなげる。

児童・生徒の感想

「八潮のまちのみんなのためにがんばっているところがわかった」
（２年児童町たんけん感想より）

学校紹介
学校名　品川区立八潮学園
校長名　小宮山琢磨
住所　品川区八潮５－１１－２
電話　０３－３７９９－１６４１
URL　https://yashigaku.shinagawa.andteacher.jp/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成２８年度
登録ボランティア数　68 名
学校地域コーディネーター　金子純子　片岡紀子

分 類　学習支援

本を通して伝える力を高めよう

『ビブリオバトル～７年生～』

事業の背景・目的

本を読む機会が少ないため、本に親しむきっかけとする。
八潮図書館職員のレクチャーを通し、地域の図書館に親しみを持てるようにする。

事業の概要

７年生各自が好きな本について、グループ内で発表する。
グループ内で、チャンプ本（１番読んでみたい本）を決定する。

特徴および工夫した点

５０分の授業内で全員が話せる機会を設けるようにした。（グループ内での発表）
ゆっくり話すことを考えられるように、２回に分けて授業を行った。

成　果

「話す」ことで、時間調整などの難しさを、「聞く」ことで、新しいことを知る楽しさを学ぶことができた。

今後の展望

今後も同様の取り組みをすることで、学校校門前の八潮図書館へ足を運び、本に親しむ機会を増やす。

児童・生徒の感想

生徒より「いろいろな本を知ることができて良かった」「また授業でビブリオバトルをやりたい」等の感想があった。

学校紹介
学校名　品川区立八潮学園
校長名　小宮山　琢磨
住所　品川区八潮５－１１－２
電話　０３－３７９９－１６４１
URL　https://yashigaku.shinagawa.andteacher.jp/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成２８年度
登録ボランティア数　68 名
学校地域コーディネーター　金子　純子　片岡　紀子

分 類　未来塾

活躍！　ミニ　翻訳機！

『共通理解を深めるために』

事業の背景・目的

近年、海外からの転入生が増えていますが、ここ、八潮学園においても、同様の傾向がみられます。そこで、日本語が不慣れな生徒との、相互理解を深めるために、ミニ翻訳機を導入しました。

事業の概要

品川地域未来塾での学習および学外指導員と生徒たちとの理解を深めるため。とりわけ、算数用語（通分、公約数、体積など）の言葉理解を補助する。

特徴および工夫した点

時間中、常に、指導員が携帯し、問題内容の説明を補助している。また、生徒たちからも、質問時に使いやすいようにしています。

成　果

日頃使っている、算数用語を英語で探し、内容説明でき、生徒のつまずき理解につながった。

今後の展望

今後、必要不可欠な道具と、なりそうです。英語のみならず、多言語対応できるのも、心強い味方となります。

児童・生徒の感想

持っている疑問、不安など、表現しやすい。とのことです。

学校紹介　学校名　品川区立八潮学園
校長名　小宮山　琢磨
住所　品川区八潮５－１１－２
電話　０３－３７９９－１６４１
URL　https://yashigaku.shinagawa.andteacher.jp/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成２８年度
登録ボランティア数　68 名
学校地域コーディネーター　金子　純子　片岡　紀子

分 類　学習支援

キャリア教育をつなげて

工場見学（３年）

事業の背景・目的

８年の職場体験につながるものとして、近隣の工場に伺ってお仕事の様子を見せていただき、お話を伺う。

事業の概要

近隣の工場にご協力いただき、３年生が５つのグループに分かれて工場に伺いお仕事の様子を見せていただく。事業後に他のグループに情報を伝えるためにグループ発表の時間を作り工場の方や引率ボランティアの保護者にも見ていただいた

特徴および工夫した点

だんだん受け入れていただける工場が減っていて苦労しているところでしたが、今回新しい工場が増えました。パン粉工場なのですが、とても協力していただきました。
引率が担任だけでは足らないため、引率ボランティアを募りました。

成　果

２年生のおみせたんけんからキャリア教育につながるものとして、良い経験になったのではと思います。学校での発表に工場に方が来てくれました

今後の展望

工場に大人数が入って伺うのはご負担が多いように感じますが、発表の様子を見ていただくなど、学校に来てもらうことで理解を進めたい。

児童・生徒の感想

パン粉がこんな機械で作られることを知って良かった。工場の人が発表を見に来てくれてよかった。

学校紹介　学校名　品川区立荏原平塚学園
校長名　米塚　裕貴
住所　〒142-0052　品川区平塚 3-16-26
電話　03-3782-7770
URL　eh-gakuen-shien@city.shinagawa.tokyo.jp
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成 28 年度
登録ボランティア数　80 名
学校地域コーディネーター　髙田　有希子

分 類　学習支援

キャリア教育をつなげて

ドリームジョブ（６・７年）

事業の背景・目的

８年の職場体験につながるものとして、お仕事をされている方に学校に来ていただき児童生徒にお話をしていただく。仕事の内容と共に、どうしてその仕事を選んだのか？やりがいは？との話を聞いて、キャリア教育のきっかけとする。

事業の概要

講師（ドリームマイスター）を１５組お呼びして、６・７年生を１５グループに分けてお話を伺う。３０分で組み換えを行い、２組の講師からお話を聞くことができる。事業後にお礼状を作成し、講師に届ける。

特徴および工夫した点

幅広い分野の講師に恵まれているので、昨年までは７年だけの事業を６年と合同開催とした。普通教室を多く使えることで、準備や移動がしやすくなった。
また、講師が多いので２回行うことで４人の話を聞けるようになった。

成　果

６年生はスチューデントシティ後の授業だったので、より実感をもって話を聞くことができた。キャリア教育のつながりを感じた。

今後の展望

同じ話を聞いても、６年と７年では感じ方が違うので、事前授業や振り返りで工夫していただき、より実りある授業にしていきたい。

児童・生徒の感想

まだ自分が何の職業になるかわからないけれど。それぞれの仕事について知ることができて、考えることができた。

学校紹介
学校名　品川区立荏原平塚学園
校長名　米塚　裕貴
住所　〒142-0052　品川区平塚 3-16-26
電話　03-3782-7770
URL　eh-gakuen-shien@city.shinagawa.tokyo.jp
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成 28 年度
登録ボランティア数　80 名
学校地域コーディネーター　髙田　有希子

分 類　学習支援・地域連携

書き初め練習

地域未来塾書道教室

事業の背景・目的

今年度より、学校支援地域本部が地域未来塾の運営をすることにより、未来塾を書道の経験の場として活用する。
長く続いている６年生の「文字のおくりもの」でご指導いただいている書道家の方との繋がりを活かす。

事業の概要

未来塾の 12 月３回を「未来塾書道教室」として実施。書き初めを毛筆で行う 3～9 年生を対象とし、通常の未来塾とは別に参加者を募集。書道家（９名）からは、筆使いや個々の作品にアドバイスを受けた。書道に親しむ機会とする。

特徴および工夫した点

初めての試みのため、当日の流れをイメージしてもらえるように、書道家の方には詳細を伝えた。
「文字のおくりもの」では、書道家の方が授業支援に関わるため、未来塾との違いを理解していただいた。

成　果

品川学園と書道家の方との関係が長く続いていることで、多くの方の支援が望めた。子供たちは、書道に集中し、自らの練習の成果を意識できていた。

今後の展望

子供たちが書道を経験し親しむ機会を継続していく。書道家の方から、もっと関わっていきたいとの感想をいただく。地域の人材として支援の継続を願いたい。

児童・生徒の感想

「習字は楽しかった」「教えてもらって、上手くなったと思う」「練習した作品を家に持ち帰って見せたい」

学校紹介
学校名　品川区立品川学園
校長名　荒川　右文
住所　品川区北品川 3-9-30
電話　03-3474-2671
URL　http://school.cts.ne.jp/shinagaku/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成 28 年度
学校地域コーディネーター　扇谷　和子

SHINAGAWA GAKUEN

分 類　レガシー事業・キャリア教育

人形劇を通して障害者と触れ合う

デフ・パペットシアター・ひとみ　講演会

事業の背景・目的

障害をもった方と触れ合う機会が少ないため、ろう者と聴者が一緒に人形劇を演じる劇団に講演依頼し機会を設けた。1～4 学年を対象としているため、人形劇を介して手話やコミュニケーションを経験する機会としたい。

事業の概要

レガシー事業の一環として障害者理解（聴覚障害者）のジャンルを選択。『デフ・パペットシアター・ひとみ』より劇団員２名（ろう者１名・聴者１名）と通訳２名に来ていただき、劇団紹介、人形の動き、言葉を発しない人形劇の工夫、簡単な手話体験、劇団員の榎本トオルさん（ろう者）の講演を行う。

特徴および工夫した点

在籍児童数が多い中での人形劇の紹介はどのようなやり方がいいのか、劇団の担当の方と何度か相談を重ねた。演者方への拍手を表現できるように、講演会の早い段階で児童に手話での拍手のやり方を伝えてもらった。

成　果

人形劇を利用したことで、劇団講演会に楽しく参加でき、ろう者の方と触れ合うことができていた。簡単な手話を経験し、劇団員や友達と共有することができた。

今後の展望

プロのデフ・パペットシアターひとみに触れることで、共生活動、共生社会の第１歩に繋がればと思う。

児童・生徒の感想

「人形が生きているみたいに動いていた」「かわいかった」「手話の拍手を覚えた」「人形に触れてうれしかった」

学校紹介　学校名　品川区立品川学園
校長名　荒川　右文
住所　品川区北品川 3-9-30
電話　03-3474-2671
URL　http://school.cts.ne.jp/shinagaku/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成 28 年度
学校地域コーディネーター　扇谷　和子

SHINAGAWA GAKUEN

分 類　その他（ 一貫プラン他 ）

豊葉の杜学園 CS の取組を全国へ（前期課程）

小中一貫教育全国シェアミーティングに参加して

事業の背景・目的

小中一貫教育全国シェアミーティング品川開催にあたり、豊葉の杜学園見学ツアーとなったため、CS の取組を全国に向けて発信する良い機会と考えた。

事業の概要

地域人材の外部講師を招いたマジック工作や昔遊び授業を行った。
先端的課外事業である HYM の各取組の紹介をもパネル展示した。

特徴および工夫した点

地域人材の授業では、講師の他に補助を担ってくださる方にも協力をお願いし、児童が様々な方と関わりをもてるようにした。
日頃から掲示等を担ってくださっているボランティアの方から［豊葉の杜学園のよいところの木］のアイディアをもらうなど、協働しながら環境づくりを行った。

成　果

来場者に外部人材講師の授業をアピールできた。
豊葉の杜学園見学ツアーの様子が教育新聞に掲載され、本校 CS の取組を全国へ伝えることができた。

今後の展望

授業機会がいつ訪れるか分からないので、日頃から、人材発掘や、つながりを大事にしていきたい。

児童・生徒の感想

地域人材の授業を受けた児童は、地域の方からマジック工作や昔遊びを優しく教えていただき、夢中になって楽しく活動に取り組んでいた。

学校紹介　学校名　品川区立豊葉の杜学園
校長名　二宮　淳
住所　品川区二葉一丁目３－４０
電話　03-3782-2930
URL:　https://school.cts.ne.jp/hoyomori/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成 28 年度
登録ボランティア数　約２５名
学校地域コーディネーター　河野　孝子　村田　丈一

分 類　その他（　一貫プラン他　）

豊葉の杜学園 CS の取組を全国へ（後期課程）

小中一貫教育全国シェアミーティングに参加して

事業の背景・目的

小中一貫教育全国シェアミーティング品川開催にあたり、豊葉の杜学園見学ツアーとなったため、CS の取組を全国に向けて発信する良い機会と考えた。

事業の概要

先端的課外事業である HYM の各取組の紹介をパネル展示した。
地域人材の外部講師を招いた授業を行った。

特徴および工夫した点

HYM の取組紹介では、各講師の方に取りまとめのご尽力を賜った。
外部人材を活用した、いのちの授業は後期特別支援学級を対象に品川チャイルドラインの方に、未来を拓くスキルアップ講座は７学年を対象にリクルートの方にそれぞれご講話いただいた。

成　果

来場者に HYM の展示で取組の説明や、外部人材講師の授業をアピールできた。豊葉の杜学園見学ツアーの様子が教育新聞に掲載され、本校 CS の取組を全国へ伝えることができた。

今後の展望

発信の機会がいつ訪れるか分からないので、日頃から、そのための資料をローディングストックしたい。

児童・生徒の感想

HYM 文芸倶楽部の展示に協力した児童・生徒から、自分の作品が展示されることに恥ずかしさがありながらも、誇らしさを感じた。

学校紹介
学校名　品川区立豊葉の杜学園
校長名　二宮　淳
住所　品川区二葉一丁目３－４０
電話　03-3782-2930
URL:　https://school.cts.ne.jp/hoyomori/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成 28 年度
登録ボランティア数　約２５名
学校地域コーディネーター　河野　孝子　村田　丈一